

## いいだ人形劇フェスタ 2018・世界人形劇フェスティバル結果報告

### 1 結果概要

- (1) 開催期間：2018年8月3日（金）～8月12日（日）10日間
- (2) 開催場所：飯田市及び近隣町村の165会場
- (3) 主催：いいだ人形劇フェスタ実行委員会、飯田市、飯田市教育委員会
- (4) 共催：信濃毎日新聞社、信毎文化事業財団、信越放送、飯田市連合婦人会
- (5) 登録数等の概要

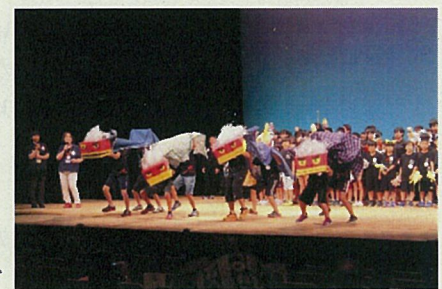
項目	2017年	2018年	内訳
参加劇団数	360	410	上演参加 297 / 観劇参加 113
人形劇公演数	507	631	有料公演 90 / ワッペン公演 541
観劇者数	41,647	60,649	大人 35,677 人 / 子ども 24,972 人
参加人数	11,597	15,236	=ワッペン販売数
スタッフ数	2,003	2,538	実行委員 91 人 / サポートスタッフ登録者 315 人 / 地区公演スタッフ 2,132 人

- (6) 海外からの参加状況：18の国と地域から35劇団218人が参加

### 2 いいだ人形劇フェスタ・世界人形劇フェスティバルの総括

#### (1) フェスティバル全体について

- いいだ人形劇フェスタ 20年、前身の人形劇カーニバル飯田から通算して40年を記念して世界人形劇フェスティバル開催。全世界の六大州全ての18の国と地域から28劇団が上演参加し、多様な人形劇に触れる機会、多様な国々の人々と交流する機会を提供することができた。
- 観劇者数60,649人、参加人数（ワッペン販売数）15,236人は、ともに「いいだ人形劇フェスタ」としては、前回2008年の世界人形劇フェスティバルに次いで2番目に多く、賑わいのあるフェスタとなった。



#### (2) 特別催事・併催事業について

- メインセレモニーでは、人形劇のまちが生まれて40年を記念して飯田市民によるパフォーマンス「人形たちが花ひらく」が披露され、飯田の人形劇文化が生まれ育ってきた経過を紹介する等、40年の取り組みを皆で祝う機会となった。
- 記念シンポジウム「人形劇のまち40年、そして未来へ」では、カーニバルからフェスタへの変遷、市民・行政の関わり、祭典を支える飯田の地域性など、様々な視点からフェスタ、人形劇のまちとその広がりを変えてとらえ返し共有した。
- 長年の人形劇の取り組みから実現した AVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）の飯田での総会、仏シャルルヴィル・メジェール市との友好都市提携30周年記念事業が期間中に開催され、より世界を身近に感じるフェスタとなった。



- フェスタ 20 周年記念誌として、主体的に関わっている市民に着目した写真冊子を作成し期間中に配布した。
- 全国高等学校総合文化祭人形劇部門が、人形劇フェスタと併催で飯田女子高等学校を会場に行われた。市外からの参加校は 1 校だけであったが、参加者にとっては充実した交流や多彩な人形劇を鑑賞する機会となった。



### (3) 人形劇公演について

- 多くの市民が海外の人形劇に触れられるよう中学校区単位で海外劇団の上演を行い、事前学習会や海外劇団との多様な交流の機会が設定され、国際交流の機会となった。
- 平日の昼間に保育園等での公演を行った。来年以降も継続して行いたいとの声が多く聞かれた。
- 猛暑への対応として、屋外会場での上演可否を判断する基準を設け、その結果セントラルパークで 3 公演を中止とした。
- 2 日目に「ふれあいアップルタウン・人形劇パレード・りんごん」が行われ、後半の賑わいが心配されたが、「りんご並木歩行者天国」の実施により、一定の盛り上がりが見られた。
- さんしょうお実行委員会の「巨大人形劇さんしょうお」は、全公演が満席となり、2,000 人を超える観客を魅了した。
- スペインのトローサ市 (AVIAMA 加盟都市) から参加した「トローサの巨人」の個性的で迫力のあるパフォーマンスは、多くの観客の注目を集めた。



## 3 次年度以降の開催について

### (1) いいだ人形劇フェスタの課題

- フェスタの規模に対して支えるスタッフが不足しており、実行委員の負担が大きくなっている。このため、期間を 4 日程度にしたいとの声もあるが、上演参加劇団は増加傾向にあり、上演希望劇団の公演を 4 日間に納めることは難しい状況である。
- プログラムの決定時期を早めるなど、観光企画に取り上げてもらえるような見直しが必要である。
- 夏の暑さが年々厳しくなっており、屋外の公演や催事に支障が出てきている。

### (2) 今後の運営方針

- 人形劇フェスタが大事にしてきた「上演を希望する全ての劇団を受け入れる」という考え方を継続していく。
- フェスタを支える実行委員、サポートスタッフを増やすことにより、運営体制を充実させていく。
- 開催時期については、小中学生の参加しやすさや他の催事の日程を考える中で、現行の 8 月上旬の開催を継続していく。暑さ対策を十分に行う。

### (3) いいだ人形劇フェスタ 2019 の日程

**2019 年 7 月 31 日 (水) ～ 8 月 5 日 (月) の 6 日間**

※祭典の核を木曜から日曜の 4 日間とし、主要な催事はこの中での開催を基本に考える。

※日曜日を有効に活用するため、月曜日までの開催を試行する。